

# 技術開発部報告書情報シート

記入年月日:1999年3月1日

情報No.	K-99-3	情報区分	プラ処理協研究報告
-------	--------	------	-----------

題名 報告書名	廃プラスチック収集輸送等に関するデータソフトの開発 報告書		
報告年月	1999年3月	ページ数	96
		著者・出版元	プラ処理協

## 【キーワード】

処理方式	減容、選別、再商品化	要素技術	各中間処理、各再商品化
樹脂類別	分別廃プラ	化学物質名	-
形状別	減容化したもの	用途別	-
法規制	容器包装リサイクル法	国別	日本

調査研究内容	<p>容器包装リサイクル法の「その他プラスチック」が分別収集、減容化され、自治体のストックヤードに貯蔵されている。これを脱塩素等の中間処理施設を経由して（あるいは経由せず）再商品化施設で再利用される。</p> <p>ストックヤードを出発して再商品化されるまでの輸送コスト、再商品化コストの合計コストをコストミニマムにシミュレーションするソフトを開発する。主体の輸送コストは市販の地図ソフトを利用して最短経路を選定する。</p> <p>また、複数のストックヤード、中間処理施設、再商品化施設の中から社会コストミニマムになるような最適計算を実施する。</p>
調査研究結果	<p>開発したソフトを利用して、(1)輸送処理、(2)複数再商品化施設の処理コスト（長距離輸送を含むケースも）、(3)中間処理施設の設置場所、(4)中間処理施設の処理コスト、(5)中間処理施設コストと再商品化処理施設コストの対比、(6)輸送コストの変動因子についてモデルケースを設定し、コストシミュレーションを実施し、この開発ソフトが有為に使用できるものであることを検証した。</p>
備考	